

令和2年度 第2回久留米市上下水道事業運営審議会（要旨）

1 開催日時

令和2年10月6日(火) 14時から16時

2 会場

久留米市企業局庁舎 3階 第1会議室

3 出席委員・アドバイザー（名簿順）

・委員

広城吉成委員（会長）、香月孝文委員（副会長）、齊藤由里恵委員、
川村芳子委員、倉八啓壽委員、権藤裕子委員、野田周子委員、深山和義委員
計8名

・アドバイザー

古川幸司氏、三浦裕明氏 計2名

4 欠席者

・委員

大森洋子委員

5 事務局（市職員等）

徳永企業管理者、井上上下水道部長、名嶋上下水道部次長、住吉上下水道部技術担当次長、古賀上下水道部主幹、長野経理課長、柿原営業管理課長、橋本給排水設備課長、内野上水道整備課長、西依浄水管理センター所長、宮崎下水道整備課長、吉原下水道整備課主幹、下川下水道施設課長、その他事務局職員等12名、(株)N J S（久留米市上下水道事業経営戦略策定支援業務受託者）

【議事次第】

1 開会

2 議題

（1）報告事項

①第1回審議会議事録について

②経営戦略策定に向けたロードマップについて

（2）審議事項

①久留米市上下水道事業経営戦略の骨子（案）について

②久留米市上下水道事業経営戦略について

I 人口推計について

II 水道事業

III 下水道事業

IV 計画の推進

3 その他

4 閉会

【配付資料】

- ・ 久留米市上下水道事業運営審議会委員名簿 ……資料（１）
- ・ 経営戦略策定に向けたロードマップ ……資料（２）
- ・ 久留米市上下水道事業経営戦略骨子（案） ……資料（３）
- ・ 久留米市上下水道事業経営戦略資料 ……資料（４）
- ・ 令和２年度久留米市上下水道事業運営審議会開催スケジュール ……資料（５）
- ・ 第２回久留米市上下水道事業運営審議会座席表 ……参考資料①
- ・ 第１回久留米市上下水道事業運営審議会議事録（要旨） ……参考資料②

議事録要旨

１ 開会

- 事務局より、委員の半数以上が出席しているため、会議が成立していることの報告
事務局より、第１回審議会を欠席された委員及びアドバイザーの紹介
事務局より、企業管理者挨拶
- 広城会長より、情報公開条例による傍聴、議事録の公開についての承認確認⇒承認
※傍聴者２名

２ 議題

（１）報告事項

①第１回審議会議事録について

（事務局より、参考資料②第１回久留米市上下水道事業運営審議会議事録（要旨）を用いて説明）

≪質疑・応答≫

特になし

（１）報告事項

②経営戦略策定に向けたロードマップについて

（事務局より、資料（２）経営戦略策定に向けたロードマップを用いて説明）

≪質疑・応答≫

○広城会長

市民アンケートについて、大まかな内容と実施状況を教えてほしい。

■事務局

上下水道事業において実施している事業や料金等に対する認識や、今後の期待などについて調査するもの。先週、対象者に調査票を郵送しており、１０月１６日を回答期限として進めている。

(2) 審議事項

①久留米市上下水道事業経営戦略の骨子（案）について

（事務局より、資料（3）久留米市上下水道事業経営戦略骨子（案）を用いて説明）

《質疑・応答》

特になし

○広城会長

久留米市上下水道事業経営戦略骨子（案）については、事務局（案）を了承してよろしいか。

《意義なし》

(2) 審議事項

②久留米市上下水道事業経営戦略について

I 人口推計について

（事務局より、資料（4）久留米市上下水道事業経営戦略資料を用いて説明）

《質疑・応答》

○広城会長

人口の推計方法について、人口の伸びを最も小さく推計していることから、久留米市の人口ビジョンを採用するということか。

■事務局

お見込みのとおり。

○広城会長

久留米市上下水道事業経営戦略における人口推計については、事務局（案）を了承してよろしいか。

《意義なし》

(2) 審議事項

②久留米市上下水道事業経営戦略について

II 水道事業

III 下水道事業

IV 計画の推進

（事務局より、資料（4）久留米市上下水道事業経営戦略資料を用いて説明）

《質疑・応答》

○齊藤委員

いくつか質問したい。まず一点目は、水道事業における負荷率について。平成27年度の負荷率が極端に下がっている要因を教えてください。次に二点目は、老朽施設の更新について。更新需要の算定基準としている「重要度・優先度」と「診断」について、具体的な内容と両者の関連を教えてください。

■事務局

一点目の負荷率の極端な低下要因について。これは、平成28年1月に発生した記録的寒波による、水道管の凍結破損等に伴う漏水量の増大が一因と考えられる。次に、二点目の老朽施設の更新について。重要度と優先度は、施設の重要性（重要度）を横軸、総合物理評価（優先度）を縦軸にマトリックス図法により更新需要を算定するもの。診断については、耐震診断等の結果に基づき更新需要を算定するもの。

○齊藤委員

診断を更新需要の算定基準とすることによるデメリットがあれば教えてください。

■事務局

後日の回答としたい。

○広城会長

齊藤委員の質問に関連して、負荷率が極端に下がった要因について、説明を追記したほうがよいと考える。検討をお願いします。

○香月副会長

給水収益の今後をシミュレーションするうえで、有収率・有効率・負荷率・受水量は重要な指標だと思う。これらの低下の要因について教えてください。また、受水費の今後の見通しについて教えてください。

■事務局

有収率・有効率の低下については、田主丸地域における簡易水道の上水道への統合、水道管の布設や耐震化に伴う洗管等によるものと考えられる。また、受水量については、平成25年度に、受水費の算定方法がそれまでの責任水量制から二部料金制に変更されたことに伴い、受水量の調整が可能になったもの。

○香月副会長

今の点について、負荷率の低下の件も含めて、経営戦略に追記してほしい。また、これまで上下水道料金を改定した際に、収益シミュレーションを行っているのか教えてください。

■事務局

具体的なシミュレーションは行っていない。

○香月副会長

シミュレーションがあれば実績との比較分析を行い、双方の差異が出やすい箇所を把握することもできる。次に料金改定を実施する際は、ぜひシミュレーションを行って実績と比較分析することで、次々回の改定に活用してほしい。

○広城会長

資料35ページにある、料金収入にあたらぬ地下水量について、メーターを設置すれば使用料を回収できるのではないかと。

■事務局

ここでいう地下水量とは、汚水処理場に流入しないものを想定している。

なお、地下水使用に対する料金回収については、メーターの設置や想定水量の設定などにより対応している。

○齊藤委員

質問ではなく、意見として申し上げる。まずは、上下水道事業における組織の見直しについて。久留米市として目指す組織の姿を、しっかり記載してほしい。その際に、若年職員の育成の必要性や、技術の継承手法など、説明を加えたほうがよいのではないかと。次に、収支ギャップについて。現状で収支ギャップが発生しているならば、その原因について記載し、そのうえで上下水道料金を据え置いている理由についても記載していただきたい。この項目では、収支の現状と目指す姿について検討していくことになるかと考えているため。

○広城会長

その他質疑がなければ、国土交通省職員として下水道行政に携わられている三浦アドバイザーから、日本の下水道事業の問題点や今後の方向性についてお話をいただきたい。

○三浦アドバイザー

ヒト・モノ・カネという切り口で語られることが多い。まず、「ヒト」について。今後の人口減少の加速に伴い、有収水量の減少により下水道使用料も減少していく。また、自治体職員においては、限られた人員の中でいかに技術を継承するのか、施設の維持等について民間活用も含めた検討が重要になる。次に「モノ」について。多くの自治体において既存施設の改築更新時期を迎えており、今後多額の費用発生が見込まれる。まずは、ストックマネジメントの導入によるライフサイクルコストの低減を図ることが必要。そして、「カネ」について。汚水処理費用を使用料でどれだけ回収できているかを表す経費回収率について、全国の3/4の事業に

において100%を下回っている。この経費回収率をいかに高めていくかということが一つの課題である。下水道事業の主要財源として国庫補助金が挙げられるが、経費回収率については補助金の交付要件に関わってくる。経営戦略等において、経費回収率向上のための具体的な取組み内容や実施時期について示してもらうことで、国交省としてもしっかり交付金等で支援していく。

日本の上下水道事業ともに、料金や使用料の改定についてしっかり考える必要がある状況である。料金改定の議論をするにあたっては、事業の見える化を意識し、市民の方々と課題や情報を共有することで、事業への理解をいただくことが重要である。

3 その他

- 事務局より、会議議事録の公開、次回の審議会開催日程（11月中旬から下旬を予定）について連絡

4 閉会

- 広城会長より、閉会のあいさつ